

(財)札幌市住宅管理公社 「住まい情報講座」

もみじ台地区は宅地開発から 30 余年を経過し、人口の高齢化率(65 歳以上)が全市平均と比較して 10% 以上も高くなっています(約 26%)。また、この傾向は戸建住宅で高く、耐震基準が強化された昭和 56 年以前の建物もまだ多く存在しており、高齢化、耐震化の対応が求められています。

この講座は、「高齢化」と「住まい」のあり方について学び、これからの生活や建物のバリアフリー化・耐震改修、建替に関する判断の一助としていただくものです。

申込み 電話・FAX・インターネットで 1 週間前までにお申し込み下さい(各講座)。

定員 50 名(先着順) 席に限りがありますのでお断りする場合があります。ご了承ください。

もみじ台管理センター 897-7431 FAX 897-7511 氏名、住所、連絡先が必要です。

インターネット 札幌市住宅管理公社ホームページ <http://www.s-j-k.or.jp>

	講座内容等	講師紹介
第一回	<p>8月25日(土) 10:00~11:30 「安心できる終の住まいを考える」 ~あなたは老後、誰とどこで過ごしたいですか~</p> <p>(1) 生活環境の変化と高齢期の暮らし (2) 介護や医療の在宅化と住まいの課題 (3) 「地域」が重視される3つの背景 (4) 「安心」な老後とこれからの住まい方</p>	<p>いわみ たいち 岩見太市氏(NPO 法人シーズネット代表)</p> <p>「豊かなシニアライフは誰かに依存するのではなく自らの主体的な意志によって切り拓くものである」という信念のもと、平成13年にNPO法人シーズネットを設立。シニア人生に役立つ社会参加、事業化活動に積極的に取り組むほか、全国各地でのシニア向け事業の講師やアドバイザーとしても活躍されています。</p>
第二回	<p>9月15日(土) 10:00~11:30 「高齢期を安心、安全に暮らすためのリフォーム」 ~あなたの住まい方が形になります~</p> <p>リフォームに正解はないと思います。そこに住む人により、全部方法が違います。 住み手と一緒に考えた事例をご紹介します。</p>	<p>ひがし みちお 東道尾氏(一級建築士事務所「自然」)</p> <p>「年をとっても体が不自由になっても、住み慣れた我が家で生活したい」という願いを実現するサポートをしたくて設計事務所を設立。介護職の経験を生かし、ご本人や介護に関わるご家族に建築と福祉両面からの提案をされています。(社)北海道建築士会札幌支部所属。</p>
第三回	<p>10月6日(土) 10:00~11:30 「魅力あふれる大家族世帯」 ~集まって暮らす楽しさ・快適さ~</p> <p>誰と暮らすかで住まいの形態が異なります。 集まって楽しく暮らすための住まいづくり成功術を実例から分かりやすくアドバイスします。</p>	<p>やまもと あきえ 山本明恵氏(恵和建築設計事務所代表)</p> <p>住宅設計を通して「いま何が求められているのか」を考え、失敗しない住まいづくりと、自分らしい住まい、暮らしの提案を、相談・セミナーなどを通じて、広く社会に伝えられています。(社)北海道建築士会札幌支部所属。一級建築士。</p>

主催者紹介、コメント

財団法人 札幌市住宅管理公社

財団法人札幌市住宅管理公社は、市民の住生活環境の向上のために必要な事業を行うことにより、市民の福祉の増進に寄与する目的で、1977年10月に札幌市により設立された財団法人です。これまで、市営住宅や学校、その他多くの市の施設の維持管理を行ってきましたが、この度、もみじ台地区の人口の高齢化に伴う住生活課題に着目し、「NPO法人さっぽろ住まいのプラットフォーム」の方たちと共に本講座を企画しました。受講された皆様が、将来の住まいを考える参考にしていただければ幸いです。

NPO 法人 さっぽろ住まいのプラットフォーム

「NPO法人さっぽろ住まいのプラットフォーム」は、住まいに関する様々な立場(市民、NPO、公益法人、事業者、行政)が連携することで、複合化する住まいの課題解決に取り組むための、地域のネットワーク組織です。また、市民と専門家、専門家同士等の有機的な連携を生む人材としての「プラットフォーム・コーディネーター」(市民)の養成や、相談・普及・啓発等の事業を通じて、市民の「自分らしく住もう」ことの実現と「誰もが安心安全に住み続けられるまち」の創造を目指します。

住所: 札幌市中央区北1条西5丁目3番地北1条ビル5F(さっぽろチャレンジオフィス内)

電話: 011-222-9800